

共働・共助による事業活動の推進／自主・自立による組織活動への参加

シルバー

2011・6
126号

せたがや



撮影 山下 賢造

世田谷散策

静嘉堂文庫美術館



ゆとり持て 急ぐ心に 事故が待つ
バランスは 体と心の 二重奏
安全は 目と手と耳で 確かめて

平成23年6月15日発行／編集発行・公益社団法人 世田谷区シルバー人材センター
本 部：〒156-0051 世田谷区宮坂1丁目24番6号 宮坂区民センター内 ☎03(3426)9211(代)
烏山支部：〒157-0063 世田谷区粕谷1丁目7番34号 ☎03(5316)1371

<http://www.sjc.ne.jp/setagaya/>

公益社団法人 世田谷区シルバー人材センター

ご挨拶

会長 竹内 弘

ー公益社団法人の初年度を迎えてー

先の3月11日の東日本大震災は、その後の政治・経済・社会生活にさまざまな影響を与えておりますが、私どものシルバー人材センターは予定どおり本年4月1日をもちまして、新公益法人として衣替えをいたしました。

明治以来110余年にわたり、公益法人制度の根拠法規として続いてきた「民法」の公益法人に関する規定はその役割を終え、新しい三つの法律にバトンタッチされました（一般法人法・公益認定法・整備法）。新公益法人として従来と大きく変わった点は、定款の目的にもありますように、「健康な高齢者が、社会奉仕活動等に積極的に参加して活力ある地域社会づくりに寄与する」ことや、理事の数が半減したこと、理事の運営責任が大幅に重くなったこと、会計処理が企業会計に近づいたこと等が挙げられます。また、会員の皆さまは法人の社員として一定の役割を担うことにもなりました。

新法人移行の初年度を迎え、私たち会員・役職員は時代の変化を見据えながら、自主・自立、共働・共助の精神を生かして、管理的運営から完全脱皮し経営的運営への第一歩を踏み出したいと思っております。

常務理事 溝口 猛

「シルバー」とめぐりあって

この度、センターにお世話になります溝口です。どうぞ宜しくお願いします。

「長寿五訓」には、人生は60歳からが長寿。お迎えが来るときは、70では「留守と言え」、80では「まだまだ早すぎると言え」、90では「左様にせずともよいと言え」、100になったら「時期を見てこちらからぼつぼつ行くと言え」と、長寿の秘訣が述べられています。誠に長寿万歳です。

「シルバー」の基礎を築かれた大河内一男先生が、「高齢者は働くことで社会の一員となる。働くことは生きがい、若い世代に残すものがある。」と含蓄ある言葉を残されました。

豊かな高齢社会の実現には、豊富な経験等をもつ高齢者が地域社会のさまざまな活動に参加できるような環境づくりが必要です。現実には残念ながら、年齢を理由に社会参加や働く機会が奪われたりしています。

自主・自立、共働・共助の理念をもつ「シルバー」は、会員が広く仕事を分かち合って、こうした社会参加と地域の活性化をめざす組織です。会員が「シルバー」の良さを地域の方々に伝えることによって、一層の会員増や新規の就業開拓につながるよう期待を込めて、就任の挨拶とします。



このたびの東日本大震災で被害を受けられた皆様に、謹んでお見舞い申し上げます。

皆様の安全と被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

この地震は、三陸沖を震源地としたマグニチュード9.0の大地震となり、大津波が東日本を襲い原発事故を含め大災害となりました。世田谷区シルバー人材センターでは直ちに会員に呼びかけ、4月14日現在、415,022円の募金額が集まりました。この義援金は「東北関東大震災義援金」として世田谷区長宛て送金させていただきました。集められた義援金は、岩手、宮城、福島、茨城、栃木、千葉の6県の自治体に配分され送られます。

ご協力ありがとうございました。

理事会の理事の所属・分担

委員会

○印=委員長
△印=副委員長

会 副 常
会 会 務
長 長 理
長 事

竹 衣 溝
内 笠 口
弘 一 猛

総務・企画委員会

松 前 前 高 菅 清 木 衣 伊
南 橋 田 品 野 水 村 笠 藤
美 允 俊 和 富 万 俊 正
代 夫 昌 久 紀 一 子
子

事業推進委員会

○ 前 前 高 菅 清 木 伊
南 橋 田 品 野 水 村 笠 藤
美 允 俊 和 富 万 俊 正
代 夫 昌 久 紀 一 子

公益社団法人として新しい組織でスタート

◇新しい組織のなか、理事会の役割は最も重要です

副会長 衣笠 俊一

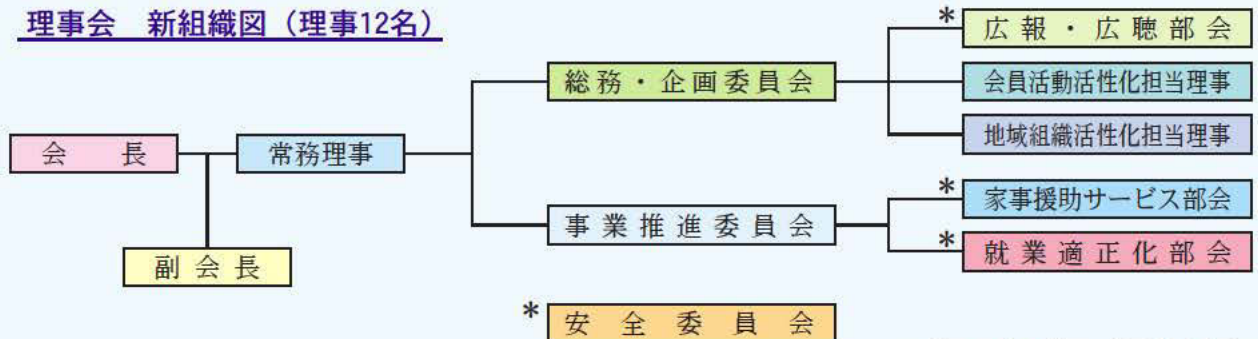
公益社団法人世田谷区シルバー人材センターとして認定を受けた当センターの運営において、理事会の役割は最も重要です。センターは定款3条・4条のとおり高齢者の能力を生かし、会員の福祉の充実と地域社会に貢献することを目指しています。新法人として、社会奉仕的な活動により公益性をより高めることも求められています。

23年度は第2次中期5か年計画の課題『福祉の受け手から社会の担い手へ』を実践する年度です。こ

の重要な年度に理事数は半減し、各理事は理事会、委員会、部会、組支援理事等複数の役職を兼任することになりました。事務局、会員、役員が情報を共有し一体となって運営に当たることが肝要と思います。

全理事は、センターの理念である【共働・共助】の精神で担当職務・役割を遂行するとともに、チームワークとフォロー体制を強固にし、理事会がセンター運営の要と自覚して、日々研鑽・努力してまいります。

理事会 新組織図 (理事12名)



*印は理事以外の一般会員も参加

次の方が3月末日で理事をお辞めになりました。ご苦労さまでした。

田村 進 石河 利雄 植田 茂男 大野 篤 金田 和 榎本 泰子
西村 光代 矢澤 庄三 弥富 菁 谷萩 耕一

以上の方々です。(敬称略)

部会 ●印=部会長 ▲印=副部会長

安全委員会

○菅野 和昌
△高品 济
五月女 雄二郎
金田 和
千葉 博司
榎本 泰子
望月 昭一
青木 剛
矢澤 庄三

事務局 安全就業推進員

地域組織活性化担当理事

前田 衣笠
俊夫 俊一

会員活動活性化担当理事

松南 清水
美代子 富久夫

広報・広聴部会

●前橋 允
▲木村 万紀子
大野 篤
弥富 菁
山下 賢造
脇本 直彦
三戸 ミユリ

家事援助サービス部会

●伊藤 正子
▲清水 富久夫
内田 和子
坂田 旭
矢我崎 佐代子
齋藤 豊和
清水 東子

就業適正化部会

●高品 济
南河 利洋
水永 毅一
秋山 福美
大澤 晃二
西村 光代

第61回定期総会 平成23年度 事業計画・予算決定

公益社団法人としての第一歩

3月29日(火)に世田谷区民会館において第61回定期総会が開かれました。はじめに竹内会長から挨拶があり、先の東日本大震災で被災された方がたに、お見舞いと哀悼の意を述べられた後、次のように今年度の展望と抱負を示されました。

「本総会が社団法人として最後の総会となり、次回から公益社団法人として、定款ほか、諸規定等を一新し、より透明性を高めた事業推進を図っていききたい。わがシルバー人材センターも設立30余年の歴史を重ね、これまで約260億円に達する経済成果を上げている。当センターの活動は、地域に根づいた新しいジャンルの文化のひとつであると言えるのではないだろうか。働くことを通じて、生涯を社会貢献に充てるといふ文化であり、私たちは先人達が育ててくれたこの文化を継承し、更に大きく深く発展させていく義務を担っている。現在の厳しい社会情勢の中、『自主・自立』の精神を常に抱きつつ、お互いに手を取り合って生涯現役を全うしたい。」と述べられました。

続いて、公務のため出席できなかった熊本区長に代わって、工業・雇用促進課長・金澤眞二氏が祝辞を代読され、区議会議長川上和彦氏のメッセージが司会者により読み上げられ、続いて都議会議員・山口拓氏の祝辞と、他の来賓の紹介がありました。

議長に吉川一夫氏が選出され、会員総数2,822名、出席会員661名、委任状1,351名で定員数に達していることが確認されたことが報告されました。

ここで議事に入り、第一号議案「22年度一般会計補正予算」、続いて第二号議案「平成23年度・事業計画」、第三号議案「平成23年度・収支予算(正味財産増減計画)」、第四号議案「役員の報酬等に関する規程の制定」、第五号議案「正会員会費規程の変更」が提案されました。

新たに発足した公益団体として、①公共事業及び民間事業の受注の拡大に努め、就業機会の確保・拡大に努める。②会員への入会を促進し、組織基盤を強化する。③「親切」「丁寧」「誠実」をモットーとし、区民の信頼を高める。④安全就業や適正就業に努め、健康の維持や事故防止に努める。⑤就業やボランティア活動を通し地域社会へ貢献する。⑥新法人の組織強化と経営の安定を進め、効率的な運営に努める。との6項目を基本方針とし、予算総額13億余円の「一般会計予算」が審議され、質疑応答のあと原案どおり承認されました。

本総会で会員・役員等の表彰と安全標語入選者の発表も行われ、田村副会長の閉会の挨拶で盛会のうちに終わりました。



第61回定期総会 会員被表彰者(敬称略)



会 員

【世田谷地区】	長島 正、土永 悦子、倉本 治子、高橋 兼松、新井 初江、島田 蓉一 伊波 健治、原島 静子、吉井 英樹、大澤 晃二、天野 孝俊、山室 茂 中尾 博、宮田 耕治、富岡 正之、竹垣 龍人、宮川 隆、今井 豊 三宅 慶甫、坂本 邦雄、長田 紀雄、平野 豊、平野 颯子、田中 卓司 上田 勝彦、海老名富士夫、上繁 六郎、安藤 愿英、長尾 庸雄、横溝 義雄
【北沢地域】	島崎 勝男、福原 雅子、町井 賢司、村田 雅司、三木信之介、楠本 康几 照沼 貞子、大野千代蔵、猪狩 俊彦、浅野 嘉子、倉田とし子、獅子倉皓二
【玉川地区】	酒井東海雄、増田 秀雄、上野 久雄、市川 均、蟹江 節子、中村ユウ子 中沢 照子、坂本 憲、小堀 貞夫、小林 シズ、高野 保、川井 庚治 山本 昇、大田 和子、五十嵐 勝、鈴木 敏夫、飯島 二郎
【砧地区】	菰田 利雄、藤間 和郎、三原 威、川島 連、定本 武子、森田由美子 野沢 彰、岡村 牧雄、小川 真純、小林 正廣、蓮沼 正江、赤座 宣子 菊池 宣明、鈴木 秀夫
【烏山地区】	深山 直孝、江澤 みつ、重岡 孝佳、穴戸 義雄、小日向靖孝、松本 國男 村越 文雄、篠原 弘、山口 泰良、平井 長寿、甘田とらじ、大谷由美子
役 員	前橋 允、菅野 和昌、伊藤 正子

表紙説明

静嘉堂文庫美術館

旧三菱財閥の故岩崎弥之助・小弥太氏によって収集された、和漢20万冊の古典籍や「曜変天目茶碗」などの国宝や重要文化財を含む5,000点の古美術品が収蔵されている美術館です。(入館料が要ります) 岡本2-23-1

アクセス バス：二子玉川園駅～用賀駅「静嘉堂文庫」1分

安全委員会からのお知らせ

無事故・無災害を目標に健康で明るい就業を。

平成22年度の傷害事故発生件数は6件となり、昨年度に比べ2件減少となりました。その内容は就業中が5件、就業途上が1件と従来に比べ就業途上の事故が大きく減少したのが特徴です。

平成23年度は「健康管理の徹底」を安全対策重点

項目に掲げ、「自分の健康は自分で守る」ことをモットーに健康で明るい就業に取り組んで頂きますようお願い致します。シルバーの就業は常に「事故ゼロ」が目標です。

安全委員会委員長 菅野 和昌

平成22年度 傷害事故発生状況 (平成22年4月1日～平成23年3月31日)

年月日 時間	性	年	就業区分 (就業場所等)	事故発生状況	傷害の内容	入・通院日数
22. 4. 10 8 : 50	女	75	就業途上 室内の清掃	就業先に向かうため自宅より徒歩にて駅に行く途中、路面状態の悪い所があり、そこで躓いて転倒した。その際左手を地面に強くついた。	左手首骨折 左肩打撲	入院4日 通院47日
22. 8. 27 10 : 30	男	67	就業中 公園の巡回 点検業務	自転車で巡回中、坂の上から勢いよく走ってきた自転車をよけるために停止した際に、バランスを崩し左側に転倒した。	左ろっ骨骨折 左右足ねんざ	通院28日
22. 9. 15 10 : 00	男	74	就業中 マンション 清掃	玄関フロアの床をモップで拭き掃除中、腰に痛みが走った。次第に痛みが強くなり、30分後、タクシーで帰宅し病院へ行った。	ギックリ腰	通院27日
22. 9. 28 9 : 00	女	68	就業中 シルバーバス 更新事務	会場設営を行っている途中、机を持ち上げ移動させようとした際、机の下のローラーが滑って机が倒れ、右足の指にあたった。	右足人差し指 ・中指・薬指の 骨折	通院5日
22. 10. 4 8 : 00	男	80	就業中 公園清掃	前日から降った雨による水たまりに足を滑らせて転倒。その際、左手を地面についた反動で全身の体重がかかり、左手首を骨折した。	左手首骨折	通院54日
22. 10. 20 8 : 30	男	62	就業中 植木の 剪定作業	ツバキを剪定し、剪定後に枝をまとめたり、葉の清掃をして作業を終えた。就業中は気付かなかったが、茶毒蛾にさされた模様で、翌日の午前中にかゆみとかぶれが発症した。	首・胴体 ・手足のかゆみ ・かぶれ	通院1日
就 業 中 5 件 就 業 途 上 1 件 そ の 他 0 件 合 計 6 件						

会長も参加 広報委員会2回目のごみ拾い環境ボランティア

3月23日、広報委員会としては2回目で最後の環境ボランティア活動を行いました。

会長にも参加いただき、世田谷区役所前に11時集合、松陰神社商店街を経て上町まで、世田谷通

り歩道沿いの植え込みなどのごみを拾い、それぞれが袋いっぱいごみを収集。商店街の方たちや通りすがりの人びとから、感謝と労いの言葉を頂き達成感を味わいました。



組長・支援理事一覧表

地域	組名	町名	組長	支援理事	地域	組名	町名	組長	支援理事
世田谷	池尻三	池尻、三宿	橋本 一雄	前田 俊夫	玉川	奥 沢	奥沢東玉川、玉川田園調布、尾山台	古知 和義	木村万紀子
	太子堂	太子堂、三軒茶屋1	国分 秀高	前田 俊夫		等々力	等々力、玉堤	榊原 未雄	木村万紀子
	若 林	若 林、三軒茶屋2	田村 進	前橋 允		上野毛	上野毛、野毛、中町	秋元 利夫	木村万紀子
	弦 巻	弦巻	若林 昭男	前橋 允		用 賀	用賀、上用賀	塚原 千裕	清水富久夫
	上 町	世田谷	重信 安弘	前橋 允		玉 川	玉川、瀬田、玉川台	柘植 基安	清水富久夫
	桜・宮坂	桜、宮坂	堀川 俊男			深 沢	深沢、新町、桜新町、駒沢3-5	森岡 昭夫	清水富久夫
	桜 丘	桜丘	池田 八郎			祖師谷	祖師谷1-2、千歳台	根岸 佐雄	菅野 和昌
	経 堂	経堂	石綿 久利	前田 俊夫		成 城	成城、祖師谷3-5	韭澤 邦武	伊藤 正子
	下 馬	下馬	永田 信行	衣笠 俊一		船 橋	船橋	佐藤 良男	
	上 馬	上馬、野沢、駒沢1-2	樋口 正明	衣笠 俊一		喜多見	喜多見、宇奈根、鎌田、岡本	広田 雅人	菅野 和昌
北 沢	梅 丘	梅丘、代田、豪徳寺	永樂 誠	松南美代子	砧	砧、大蔵	山崎 勉	菅野 和昌	
	北 沢	北沢、大原、代沢	三木信之介	松南美代子	上北沢	上北沢、八幡山	小山 一郎	高品 斉	
	松 原	松原、羽根木	猪狩 俊彦	松南美代子	上祖師谷	上祖師谷、粕谷	大平 豊弘	高品 斉	
	松 沢	赤堤、桜上水	飯田 七郎	高品 斉	南鳥山	南鳥山、粕谷	佐藤 和夫	伊藤 正子	
					北鳥山	北鳥山	渡辺 了	伊藤 正子	

◆支援理事が空欄の組は、当面、会長が代行します。

— ボランティアグループ活動便り —

2月27日 今年も「東京大マラソン」環境ボランティアに参加



リターナブル回収容器の回収法を来場者に説明する会員

「東京大マラソン」へのボランティア参加は、今年で3回目になります。新調の世田谷シルバーのロゴ入りジャンパーを着用した30名の会員が、所定の持場へグループごとに移動、案内やりサイクル活動に貢献しました。来年も多数の参加を期待しています。

ボランティアリーダー 清水 富久夫



シルバー就業が健康をつくる、

松沢組 高 品 齊

10年前、東京都駐輪場管理講習会を1週間受けた後、今は無い経堂北駐輪場に就業しました。講習会で最も難しいというお客様の苦情処理についての実習は、僕にはイージーでした。もっと凄いクレームを関西系洋酒会社で実務体験していたし、それは僕の得意分野と認識していました。要は人間好きで、正しさを易しく相手に納得させる説得のプロセスが大好きで、その達成感は最高の喜びでした。それは、女を口説くドンファンや紛争を回避して危機を乗り切る外交手腕と似ています。

経堂北の頃、身長176cm体重92kgと太っていた。インカレ平泳100m決勝2位のアスリートとしての基礎体力はあったがメタボ予備軍でした。それで自転車等を移動させる作業を厭わないように心がけながら、運動量を増やすように意識しました。

いま、小田急祖師谷大蔵第一で就業していますが、毎年1kgずつ減量して体重82kg、血圧125/75。健康診断で悪いところは一つも無く、赤ワインも美味しい。駐輪場のおかげです。

無事還暦を迎えたら

奥沢組 矢我崎 幸代

人生って面白い！なぜって、予測可能でも見通し不可の選択肢から、自分で選びつつ歩む道を決められるから。

60歳以上が入会条件のシルバー人材センターの存在を知ったのは、嬉しい衝撃でした。私にできることがあるのではと、さっそく入会手続きをとりました。当時仕事を通しての社会参加は考慮外でしたから。この新たな一步に心弾む想いでした。出かけてみると、同年代の方がたがいっぱい、しかも元気潑刺。

現在、私は家事援助サービスに属し、経験豊かな素敵な方たちと仕事をし、微力ながらも人様の役に立てる幸せをかみしめています。ですから“還暦を迎えたら、シルバー人材センターの扉をノックしてみよう！”と、まだ、この制度に無縁の若い方々にも、声を大にしてお知らせしておきたいと思います。勿論、はるか以前に還暦の声を耳にした方がたにも。

この度の東日本大震災で、ご自分の意志で人生を選ぶことができなくなった方がたのご冥福をお祈り申し上げます。

ベル研時代の思い出

松原組 小 林 良 次

もう30年以上昔になりますが、私は1975年から1980年まで6年間米国ベル研究所のWhippany研で世界初の自動車電話システム(現在の携帯電話の元祖)の開発に参加しました。

最初は言葉の問題を含め生活すべてが不安でしたが、ベル研の上司の方がたの公私にわたるご指導で何とか切り抜けました。特に英語には苦しみました。

英語にはかなり自信があり、私のしゃべる言葉は相手には解ってもらえるのですが、相手の言葉にはヤンキーなまりや、南部なまりがあり、hearingではまったくわからない言葉も多く悩み抜きました。解決法として、ベル研の食堂でなまりの多い人々と一緒にランチを食べながら、恥をかなぐり捨てて、毎日しゃべり合い、口語調の英語を含め、徐々になまりに慣れるように努力しました。

私はNew Jersey州のMadisonという町に住み、6000cc

の車でベル研まで片道15分で通勤しました。冬には一晩で1メートル以上もの雪に見舞われ、車が身動きできなくて、バッテリーが上がったりしました。また、食べる物も肉やパンが主体で、日本との食生活の違いもあり、大変苦労しました。

こんな苦労を重ねながら三年間があっという間に過ぎ、夏には私の家族を日本から呼び寄せ、ベル研の上司の方々のご家族との交流をさせていただき、大変ありがたく感謝しております。

「石の上にも三年」と申しますが、三年経ってどうやら米国での生活に慣れ、やっとどうにか一人前になったような気がしました。人間は苦しい体験をして、これを乗り越えると達成感というか元気が出てくるものです。滞米中には24州を旅行しましたが、何せ、どでかい国で、行く先々で生活様式がまったく異なるのには、びっくりさせられました。まさに United Statesです。

以上がベル研時代の思い出の要約ですが、英語の勉強は今でも継続しています。

さわやか相談窓口開設中

相談時間：午前10：00～ 午後13：00～
場 所：宮坂本部

7月11日(月) (8月は休み) 9月12日(月)
10月11日(火) 11月14日(月) 12月12日(月)

会費未納の方にお願ひ!

平成22年度の会費(年額1,000円)が未納の方は、早急に宮坂本部又は支部にお納めください。

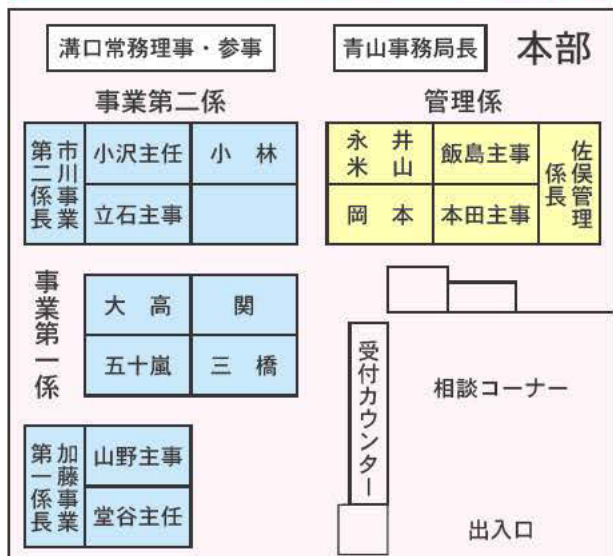
事務局 だより

●配分金振込日予定●

6月分 7月13日(木) 8月分 8月11日(木)
8月分 9月13日(火) 9月分 10月14日(金)

配分金振込みは支払日に指定口座へ入金されますが、給与振込みと違い全ての口座へ午前中に入金されるわけではありません。ご了承願ひます。

23年度 事務局本部・支部配置図



●事業第一係

自転車整理・誘導、公共施設管理、自転車等駐車場管理、除草、家事援助サービス・美術館監視等、除草、内職作業

●事業第二係

公園清掃、針灸受付、ポスター掲示、刃物研ぎ、襖・障子張り、学習教室、カルチャー教室、植木の手入れ、マンション清掃、屋内外清掃作業等

●管理係

会議、理事会、会員の入退会、研修、会計、組織活動支援、広報等

烏山支部

公共施設管理(砧・烏山地域)、陶芸・パソコン教室
公園清掃(砧・烏山地域)
民間事業(事務・軽作業・清掃)、東急百貨店等

支部



お知らせ

高齢者の秋の祭典、第33回「いきいきせたがや文化祭」が10月20・21に世田谷区民ホールで開催されます。日頃研鑽をかさねた作品や演芸を展示・発表するお祭りです。この祭典に積極的に参加しシルバーをアピールしませんか。応募の詳細は9月号の「シルバーせたがや」でお知らせします。

事業実施状況 (平成23年3月末現在)

会員数 男 2,092人
女 782人 計 2,874人
受託件数 18,575件
契約金額 12億4,643万円

*前年比でそれぞれ、会員数は136人(4.9%)、受託件数は民間受託を中心に1,443件(8.4%)、契約金額は3,032万円(2.5%)の増となりました。会員の皆様の頑張りで、就業実人員は2,208人(前年比212人増)となり、就業率は前年の72.9%から76.8%へ大きく伸びました。

編集後記

この度被災された方々に、衷心よりお見舞い申し上げます。風光る3月、松尾芭蕉が「行く春や 鳥啼き 魚の目は泪」と詠んで、奥の細道へと旅立ったのもこの季節だったとか一。心浮き立つこの季節が、未曾有の大地震によって、脆くも灰色の季節となってしまいました。直接被害を受けなかった人々も、生き方、暮らし方、価値観の変更を余儀なくされています。今の私たちにできる事は何か?信頼、互助の気持ちを維持し、人との絆を深めて、ひとつずつ乗り越えていきたいものです。風評などに惑わされない知恵と精神力で、負のスパイラルから脱け出す努力をしましょう。(広報紙担当)

..... みんなで会員を増やして地域に貢献

生きがいとたのしい仲間が待っています

現在約2,800人の会員がいます。仕事だけでなく趣味(カラオケ、ゴルフ、カメラ、ボランティアなど)のグループもあります。



高齢者にふさわしい仕事をご紹介します

高齢者が「社会参加」を求めています。生きがいのある仕事をご紹介します。センターが責任をもって実現します。

問い合わせ TEL (03) 3426-9211 宮坂本部